

## 9. 図書館評価

図書館運営を振り返り、効果的・効率的な運営と、より一層の図書館サービスの向上および地域との情報共有をはかる仕組みとして、平成 20 年度から「豊中市立図書館評価システム」（以下、「評価システム」）を導入し、図書館運営に関する自己点検と外部評価を実施している。

それまで「評価システム」でおこなっていた進捗管理を、「豊中市立図書館の中長期計画（豊中市立図書館グランドデザイン）」（以下、「グランドデザイン」）の策定を機に、平成 26 年度からは「グランドデザイン」の進行管理と一体化した。

平成 29 年度に開催した図書館協議会図書館評価部会による外部評価および図書館協議会の議論をへて、平成 30 年度に「評価システム」を簡素化し、様式変更した「豊中市図書館評価項目表」をもとに取り組んだ。（『豊中市の図書館活動Ⅱ 統計・資料』に掲載）

平成 29 年度に実施した来館者アンケートについて、分析 P R チームにおいて館ごとの分析、とりわけ自由意見に着目し、特徴的であると思われる意見を抽出した。それらの意見とほかの設問項目との相関関係を分析し、個別事例を全館への課題としてとらえなおし、報告書にまとめた。今後は各館において図書館運営の改善に役立てていく。

## 10. グランドデザインの進捗状況

### グランドデザインの 4 つの目標 進行管理報告書（平成 30 年度）

グランドデザインの 4 つの目標とは「豊中市立図書館の中長期計画 豊中市立図書館グランドデザイン」（平成 26 年 3 月策定、以後グランドデザイン）において、令和 5 年（2023 年）までに図書館のめざす姿を実現するために設定されたものです。

図書館のめざす姿を実現するため、28 のプランを優先順位の高いものからすすめることになっています。この優先順位の高いプランの実施状況を確認することで、グランドデザインの進捗状況の点検をすすめていきます。進行管理については以下のとおり行います。

- ・ 0～4 の目標のうち、複数のプランがあるものについては、図書館の使命および関連の事業計画や当該年度における図書館を取り巻く現状などに照らし合わせ、年度ごとに優先順位を決定します。決定には直接サービスに関わる分館の施設長等も関わります。
- ・ 28 のプランを関連する 4 つの目標（1～4）と目標実現を支える取り組み（0）ごとに分類します。
- ・ 28 のプランの優先順位の高い取り組みを抽出し、事業ごとの取り組みや課題、次年度に向けての予定を達成状況とともに表しています。
- ・ 優先順位の高い取り組みがどの程度達成できているか確認することにより、図書館のめざす姿の実現に向けての進行管理とします。

達成度 ◎:十分達成できた ○:おおむね達成できた △:一部達成 -:未達成

1. 学びによる市民と地域の自立を支えます。 該当プラン ⑳・㉑・㉒・㉓・㉔		
優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、令和元年度に向けての取り組み
<p>【優先的な取組プラン：㉔図書館サポーターへの参加機会の提供】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庄内図書館では月2回、本の修理を中心にサポーターの活動をおこなっています。30年度は、閲覧用の椅子カバーの張替え作業などにも参加していただきました。また、3月にはサポーターと担当職員による振り返りをおこない、市民目線による事業への提案や意見交換をおこなうとともに、サポーター募集のポスターをサポーターと担当職員で作成しました。さらに「大人のための図書館のお仕事体験ツアー」を実施し、サポーター事業の案内をおこないました。</li> <li>・野畑図書館では、平成30年7月から月2回に回数を増やし、CDや本の装備を中心にサポーターの活動をおこなっています。</li> <li>・庄内幸町図書館では、平成30年1月から自習・新聞閲覧スペースの見守りサポーターを開始しました。</li> </ul>	○	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○継続したサポーターの募集および確保</li> <li>○多くの市民に参加してもらえよう、参加者のニーズの把握と魅力あるメニュー作り㉔</li> </ul> <p>【令和元年度に向けての取り組み】</p> <p>引き続き「図書館のお仕事体験ツアー」を開催してサポーター希望者を募集し、活動の機会を提供します。</p> <p>㉔</p>
2. 市民の利便性を向上させあらゆる情報を提供します。該当プラン ㉕・㉖・㉗・㉘・㉙		
優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、令和元年度に向けての取り組み
<p>【優先的な取組プラン：㉕セルフ貸出・返却・予約受取】</p> <p>【事例】</p> <p>東豊中図書館、服部図書館にセルフ式予約受取棚を設置しました。</p>	◎	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○セルフ貸出機、返却機のさらなる活用の検討、セルフ式予約受取棚設置に向けての図書館システム変更なども含めた環境整備</li> <li>○フロアワークの充実や利用者の利用動向についての分析が必要。㉕</li> <li>○全館的な事業の見直しやさらなる効率化による状況に応じた応援体制の構築</li> <li>○図書館を災害時に避難所とする場合の態勢整備</li> </ul>

<p><b>【優先的取組プラン：⑱開館日数の拡充】</b></p> <p><b>【事例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月の大阪北部地震、9月の台風により臨時休館を余儀なくされました。台風による被害などにともない、集会室を持つ野畑・高川・服部・東豊中の4館において緊急的措置としての避難所開設の要請があり各館で受入態勢を整えました。</li> <li>・服部図書館では資料点検期間にも2日間セルフ式予約受取棚を開放し、予約資料を提供しました。</li> <li>・岡町図書館こども室の開館時間試行延長の効果検証をおこない、平成30年度についても7月～8月の間試行を実施しました。</li> </ul>	○	<p>○シフト勤務による職員間の連絡調整及び全体会議や研修の機会保障⑱</p> <p><b>【令和元年度に向けての取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野畑図書館にセルフ式予約受取棚を導入します。</li> <li>・システムリプレイスに向けて適正なIC機器の設置についての検討をすすめます。⑰</li> <li>・東豊中図書館は空調工事のため一時休館となる期間も予約本の受け渡し等、一部のサービスを継続して実施できるよう努めます。⑱</li> </ul>
--	---	---

**3. 地域課題に対応した図書館サービスを提供します。 該当プラン④・⑦・⑧・⑭・⑯・⑳**

優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、令和元年度に向けての取り組み
<p><b>【優先的取組プラン：⑭調査分析】</b></p> <p><b>【事例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度実施の来館者アンケートについて分析し、サービス改善に役立てる旨、平成29年度第1回図書館協議会評価部会において報告しました。分析PRチームではアンケートの分析作業をおこない、今後各館の利用者の視点から図書館のあり方を考えるうえで参考資料となるよう、報告書としてまとめました。</li> <li>・公益社団法人 日本図書館協会が発行する『日本の図書館一統計と名簿』を用いて、中核市を中心に市民1人当たりの図書館費の現状の把握をおこないました。</li> </ul>	◎	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各館におけるアンケートの活用</li> <li>○市民1人あたり図書館費の現状把握し、今後の職員体制や各館のあり方、サービスについての検討が必要⑭</li> </ul> <p><b>【令和元年度に向けての取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度にまとめた報告書を基に、事務事業およびグランドデザインの間見直しをおこないます。⑭</li> <li>・館内でのわかりやすい表示の作成など、各館でより親しみやすい、利用しやすい図書館に向けて創意工夫を続けます。⑭</li> <li>・（仮称）中央図書館基本構想策定に向けてアンケート（来館者・郵送）を実施します。⑭</li> </ul>

4. 学校図書館の支援を通じて子どもたちの学びの基礎作りを支えます。 該当プラン ⑪

優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、令和元年度に向けての取り組み
<p><b>【優先的取組プラン：⑪学校図書館を支援する人材の配置】</b></p> <p><b>【事例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館活用研修、校内研修を実施しました。</li> <li>・学校図書館を活用した授業実践の支援に小中学校へ出向きました。</li> <li>・「学校図書館を活用した授業実績（単元数）」の集約方法を見直し、分析結果を学校へフィードバックしました。</li> <li>・学校図書館を活用した授業等の好事例を取材し、「ブックプラネット通信」を発行、情報の発信と共有をおこないました。</li> <li>・大規模校における学校図書館業務の支援策等について検討をすすめました。</li> <li>・小中一貫校における学校図書館の検討をすすめました（（仮称）北校学校図書館担当者会）。</li> <li>・知的探究合戦「めざせ！図書館の達人」、豊中市ビブリオバトルチャンピオンシップ中学生大会、子ども読書活動フォーラムを開催しました。</li> </ul>	○	<p><b>【課題】</b></p> <p>小中学生の読書環境等の実態把握とそれに基づく各学校への学校図書館支援⑪</p> <p><b>【令和元年度に向けての取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生を対象にした読書に関するアンケートの実施について検討をすすめます。</li> <li>・（仮称）庄内さくら学園に向けた学校図書館統合について準備をすすめます。</li> <li>・新任学校司書を対象にした研修の充実をはかります。⑪</li> </ul>

0. 1から4の目標実現を支えます。

該当プラン①・②・③・⑤・⑥・⑧・⑨・⑩・⑫・⑬・⑮・⑰・⑳・㉑・㉒

優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、令和元年度に向けての取り組み
<p><b>【優先的取組プラン：①最適な実施手法の確立】</b></p> <p><b>【事例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東豊中図書館・服部図書館の多機能化、効率的な運営をめざして、セルフ式予約受取棚を導入しました。</li> <li>・民間活力の導入の一つとして、コンビニエンスストアでの予約資料受取りについて、該当地域の業者と協議しましたが、実施にはいたりませんでした。</li> </ul>	○	<p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○セルフ式予約受取棚設置およびサービスポイントでの予約資料受取実施に向けて、図書館システム変更なども含めた環境整備</li> <li>○事務事業の見直しの進捗状況や今後の図書館のあり方についての職員間における情報共有①</li> <li>○常勤職員が減少する中、多様な雇用形態での運営管理の継続実施に向け必要な各職域の役割の再検討が必要。</li> </ul>

<p><b>【優先的取組プラン：⑤職員の役割分担】</b></p> <p><b>【事例】</b></p> <p>・会議の効率化・迅速化をはかるために、成人・児童サービスの各担当者連絡会に相談役として、引き続き施設長・副館長のなかから1名ずつ配置しました。</p>	<p>△</p> <p>○職場内での相互の学びあいによる人材育成の仕組みづくり。</p> <p>○「豊中市人材育成基本方針」に基づき、職員ひとりひとりが果たすべき役割とめざすべき行動について振り返りの機会を持つ。⑤</p> <p>○多様な雇用形態による運営管理の継続実施、貸出等一部業務のセルフ化による効果の最大化</p> <p>○労働市場の変化に対応し、優れた人材の確保、および図書館事業の継続性の確保⑥</p>
<p><b>【優先的取組プラン：⑥採用計画の作成】</b></p> <p><b>【事例】</b></p> <p>・事務事業の見直し進捗管理（総務部行政総務課 主管：（元）特定事業の見直し）において、図書館事業総コスト・「公共施設総合管理計画」における考え方などの全体像のなかで、職員体制に関する議論も継続しておこなわれました。</p>	<p>△</p> <p>○経験年数や配属に即した体系的なプログラムの検討⑨</p> <p>○中央館機能を持った図書館を核とした施設配置のあり方⑫</p> <p><b>【令和元年度に向けての取り組み】</b></p> <p>・野畑図書館のセルフ式予約受取棚設置に取り組みます。またサービスポイントについても継続して検討をすすめます。</p> <p>・（仮称）南部コラボセンター開設に向けた図書館フロアの詳細なフロアイメージを作成します。①</p>
<p><b>【優先的取組プラン：⑨体系的な研修の実施】</b></p> <p><b>【事例】</b></p> <p>文部科学省国立社会教育研究所主催の図書館司書専門講座に1名が参加しました。レファレンスサービスや障害者サービス、子ども読書活動、ヤングアダルトサービスなど職員が人材育成上必要な研修について継続して受講の機会を設けました。また大阪府図書館司書セミナーの参加者による研修報告をおこない、成果の共有化をはかりました。</p>	<p>○</p> <p>・会議の効率化・迅速化をはかることをめざし、引き続き、担当者連絡会に相談役として施設長・副館長から各1名、新たに担当職員から窓口担当を各1名配置します。</p> <p>・事務事業の見直し等による図書館全体の人員の見直しのなか、危機管理面に配慮した運営管理を整えつつ、豊中市職員また図書館職員として必要な各職域の役割について再度の周知をおこないます。⑤</p> <p>・他部局や学校図書館から配属された職員を対象とする図書館内部の業務研修を引き続き実施します。</p> <p>・セルフ機の効果を最大化し業務の効率化・負担減少につなげます。</p> <p>・基本政策の一つである（仮称）中央図書館基本構想の策定にむけて、施設の再編とあわせ職員体制に関する</p>

<p><b>【優先的取組プラン：⑫ 施設配置の最適化】</b></p> <p><b>【事例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館協議会における議論をふまえ、中央図書館機能について検討しました。</li> <li>・図書館が身近にない地域においてコンビニエンスストアでの予約受け渡しの可能性について該当地域の業者と協議しましたが実施にはいたりませんでした。</li> </ul>	<p>る議論もおこなっていきます。⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の多様な雇用形態をふまえ、キャリア形成の視点を大事にした研修を企画するとともに、さまざまな研修への参加を通して、市民サービスの向上につなげていきます。⑨</li> <li>・「豊中市公共施設等総合管理計画」に基づき、図書館協議会の議論をふまえ、（仮称）中央図書館基本構想の令和2年度度中の策定に向けて取り組みます。また中央館機能を持った図書館を核とする施設配置や機能分担のあり方について市民ニーズ調査を実施するとともに庁内会議で検討をすすめます。⑫</li> </ul>
--	--

## 11. とよなかブックプラネット事業

学齢期の子どもたちの多様な読書・学習活動をささえるため、学校図書館と公共図書館の蔵書を一体的かつ効果的に活用する環境を整備し、相互の連携強化に取り組んでいる。

小学校においては、学校図書館を活用した授業例「とよなかスタンダード\*」概要版を新任の小学校教員などに配布するとともに研修で活用した。

中学校においては、各中学校図書館の利用動向について調査をおこない、好事例を市内中学校に情報提供するとともに、ビブリオバトル大会を開催し、読書のきっかけづくりとした。

また、小中学校9年間を見通した学校図書館を活用した授業実践に向けての研修支援をおこなった。

\*とよなかスタンダード＝図書館教育（情報活用教育）を通して子どもたちにつけたい力を示した指導体系表と学校図書館を活用した授業例（年間計画）